



東京府地誌略
卷上

ル 4
4004
1



4004

1

學務課編纂

東京府地誌略

明治十二年二月

版權所有

東京府



東京府地誌略目次

卷之上

總論

郡區誌

麴町區

神田區

日本橋區

京橋區

芝區

麻布區

東京府地誌各卷之上

赤阪區

卷之下

郡區誌

四谷區

牛込區

小石川區

本郷區

下谷區

淺草區

本所區

深川區

南豐島郡

北豐島郡

荏原郡

東多摩郡

南足立郡

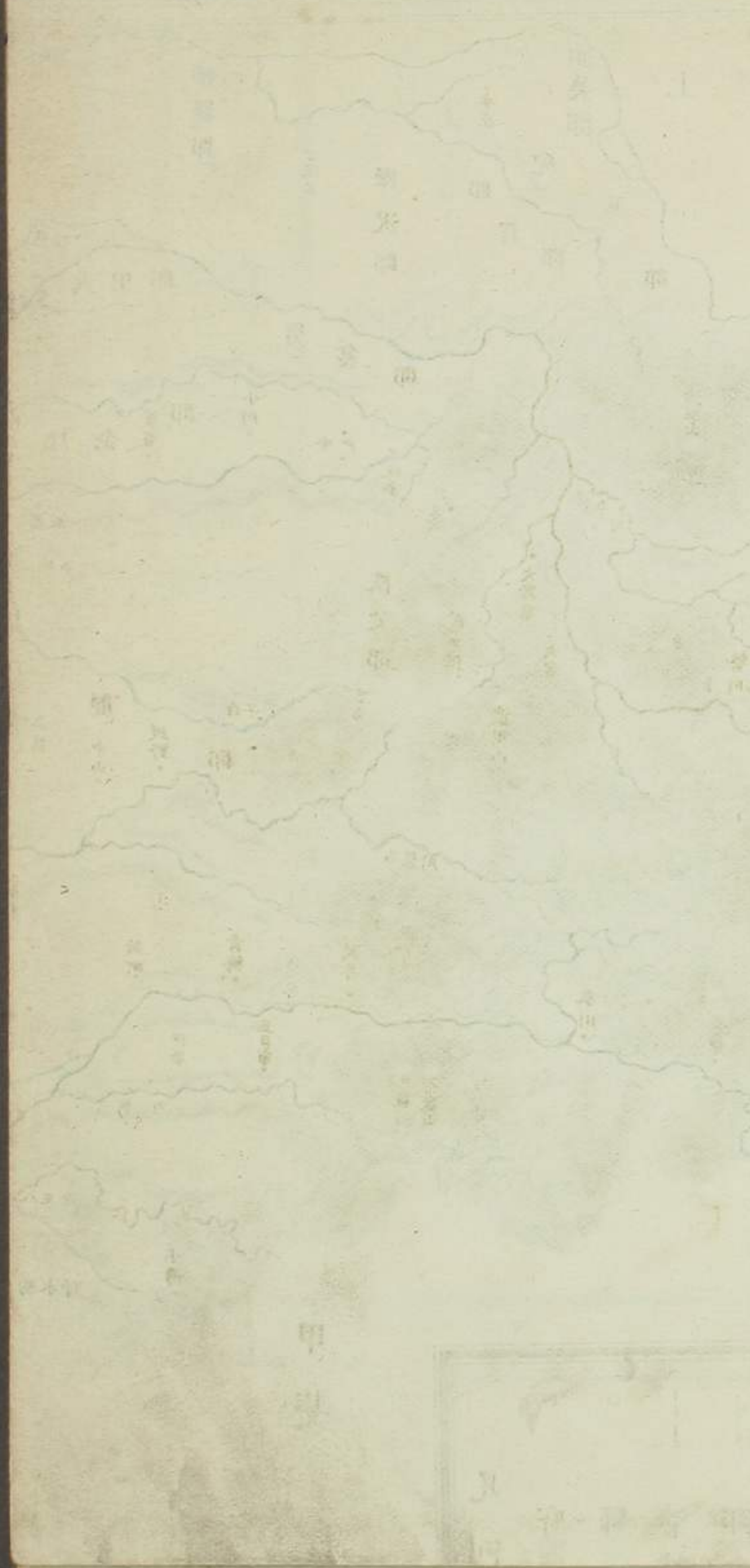
南葛飾郡

附

伊豆國七島及ビ八丈島

目次畢

下總
葛飾郡
新市
小島田
上今井
下今井田
利根川

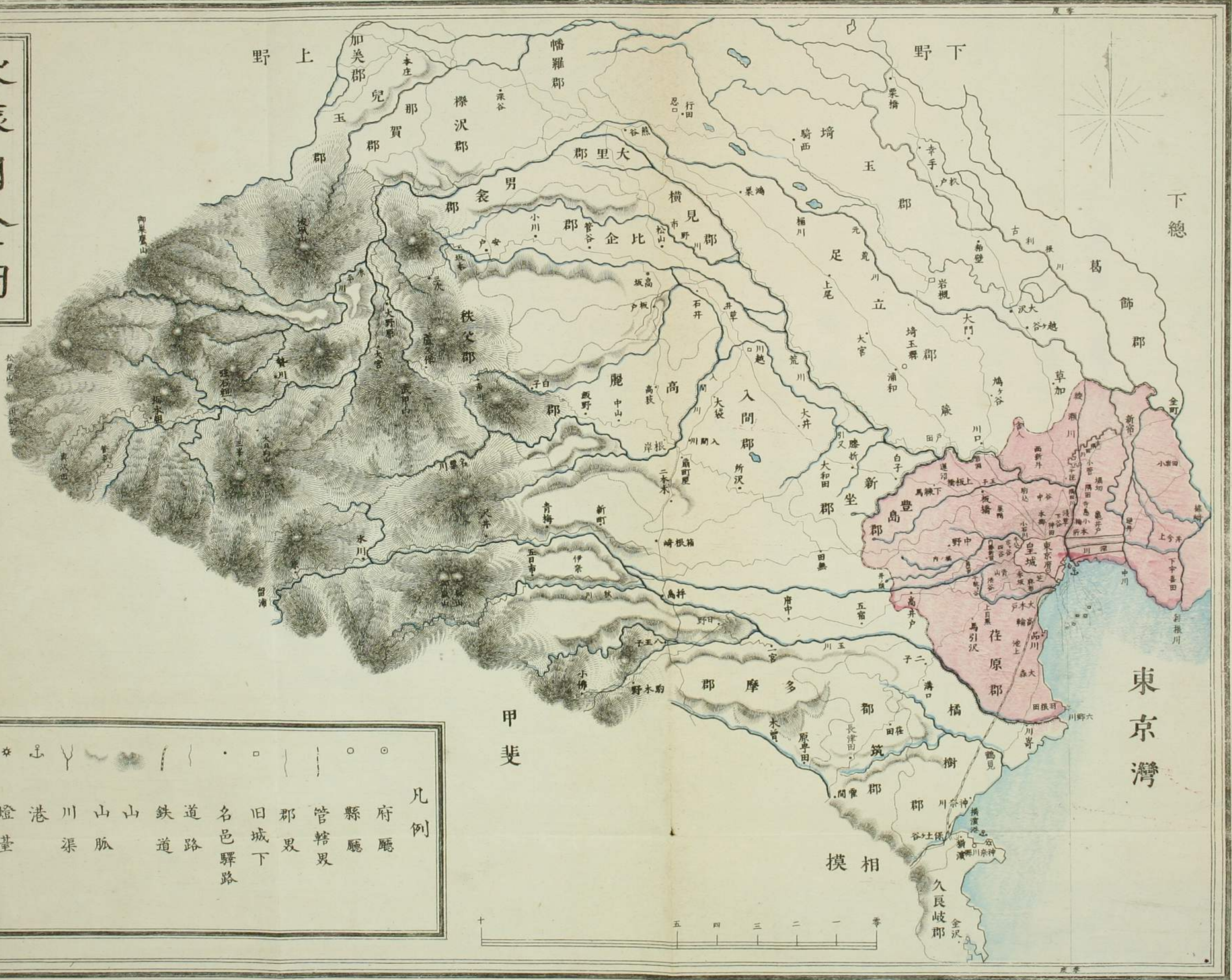


武藏國全圖

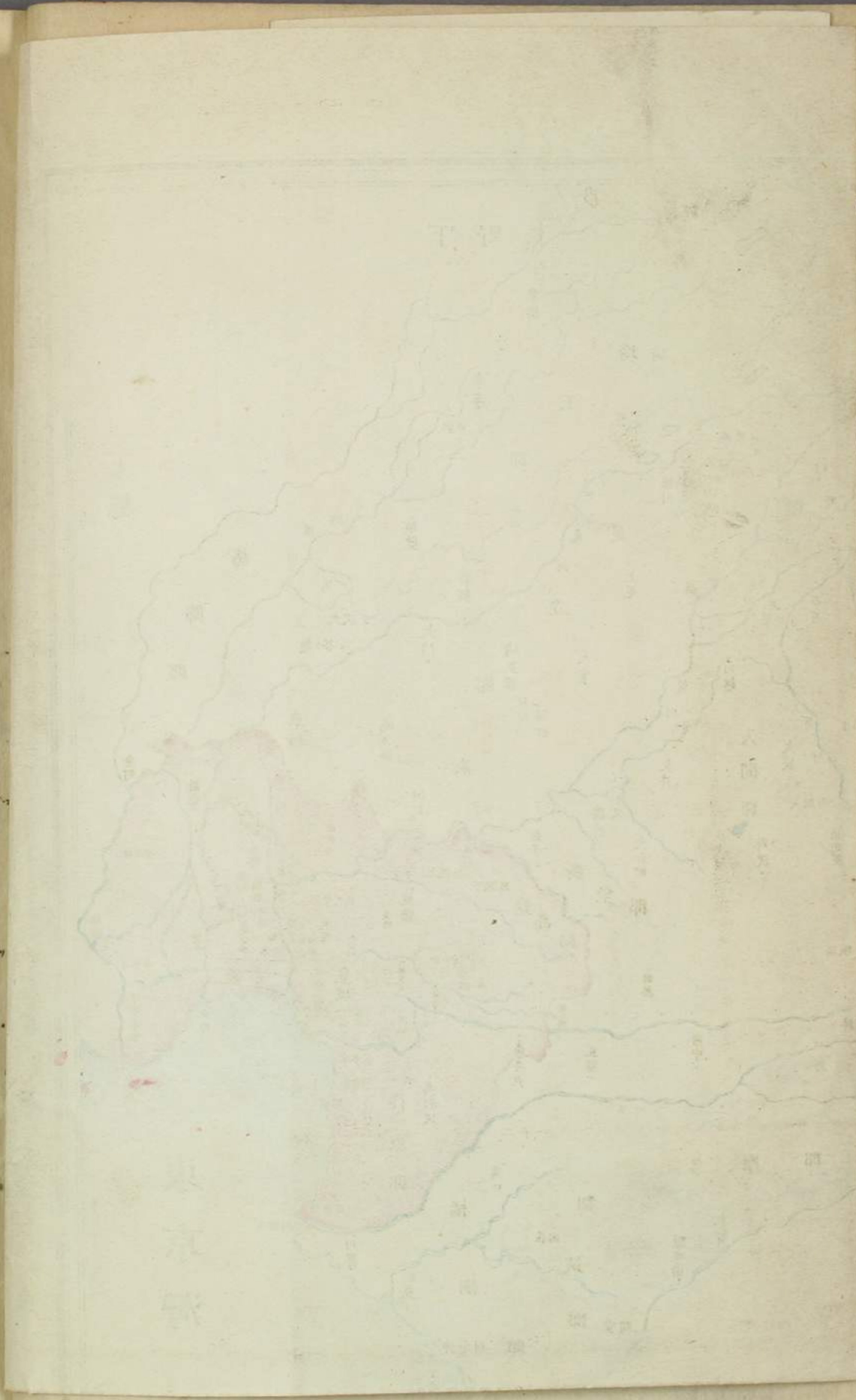
信濃

凡例

○	府廳
○	縣廳
○	管轄界
○	郡界
○	旧城下
○	名邑驛路
—	道路
—	鐵道
—	山脈
—	山川
—	港渠
*	燈臺



打田山刀



東京府地誌略卷之上

總論

東京府ハ、武藏國ノ東南隅ニ在リテ、南北豊島荏
 原東多摩南足立南葛飾ノ六郡ヲ管シ、東ハ千葉
 縣ニ界シ、西北ハ埼玉縣ニ接シ、西南ハ神奈川縣
 ニ隣リ、南ハ東京灣ニ臨メリ、北緯三十五度三十
 分ヨリ起リ、同四十七分ニ至リ、經度東京偏東零
 度九分ヨリ起リ、偏西零度八分ニ至ル、幅員凡ソ
 三十三方里、人口一百零五萬餘、六郡ノ中、市街ニ
 屬スル者ヲ畫シテ、麴町神田日本橋京橋芝麻布

赤阪四谷牛込小石川本郷下谷淺草本所深川ノ
十五區トス、地勢ハ古ヘニ謂フ所武藏野ノ地ナ
ルヲ以テ、率子平遠ニシテ山ナク、只丘陵アリテ
處々ニ起伏シ、江戸玉ノ二川、南北ノ界ヲ限リ、其
間ニ數條ノ溪流アリ、
上野山ハ、下谷ノ西北ニ峙テル小丘ニシテ、舊名
ヲ忍岡ト曰フ、滿山松杉鬱茂雜ルニ櫻樹ヲ以テ
シ、風致殊ニ佳、府下五公園ノ一ナリ、其山脈北ニ
走リ、蜿蜒王子村ニ及ベリ、新堀村ニ於テハ之ヲ
道灌山ト曰ヒ、西ケ原村ニ於テハ之ヲ御殿山ト

曰ヒ、王子村ニ於テハ
之ヲ飛鳥山ト曰フ、皆
眺望開豁都人遊觀ノ
地タリ、
愛宕山ハ、西久保ノ南
ニ連互スル岡陵ニシ
テ、其南ヲ含海山ト曰
ス、偕ニ芝海ニ俯瞰シ、
皇城東南ノ連街、一矚
ノ間ニ在リ、

上野公園之景



山王山ハ、永田町ニアリ、溜池ノ上ニ屹立セル小丘ニシテ、樹木鬱蒼、日枝神社アリ、

谷山ハ、品川驛ノ北ニ接シテ、南内海ニ臨メリ、其西南ニ御殿山アリ、舊時櫻樹多ク、花時遊客ノ簇リシ所ナリ、

真土山ハ、淺草聖天町ニ在リテ、隅田川ニ枕セリ、鼠山ハ、長崎村ナル小丘ニシテ、徳川幕府ノ時練兵ノ地タリ、今變シテ田圃ト爲ル、

天現寺山ハ、池澤村ニ、同前山ハ、太子堂村ニ、大平山ハ、奥澤村ニアリ、其他駿河臺湯島臺ノ如キ、丘

陵勝ゲテ數フヘカラズ、

江戸川ハ、本名利根川ニシテ、即チ大利根川ノ支流タリ、下總國關宿ノ南ニ於テ、大利根川ト派分シ、武總ノ境ヲ南流シ、東京灣ニ入ル、川廣ク水深ク、舟楫常ニ常總野上ノ諸州ニ往來シ、運輸甚タ便ナリ、

玉川又多摩川ニ作ルハ、其源ヲ信濃國ニ發シ、甲斐國ヲ過ギテ東流、東多摩郡ニ入り、荏原橘樹二郡ノ界ヲ過ギテ、東京灣ニ注グ、其水甚タ深カラズト雖モ、亦船筏ヲ通スベシ、年魚ニ名アリ、其下流ニ六

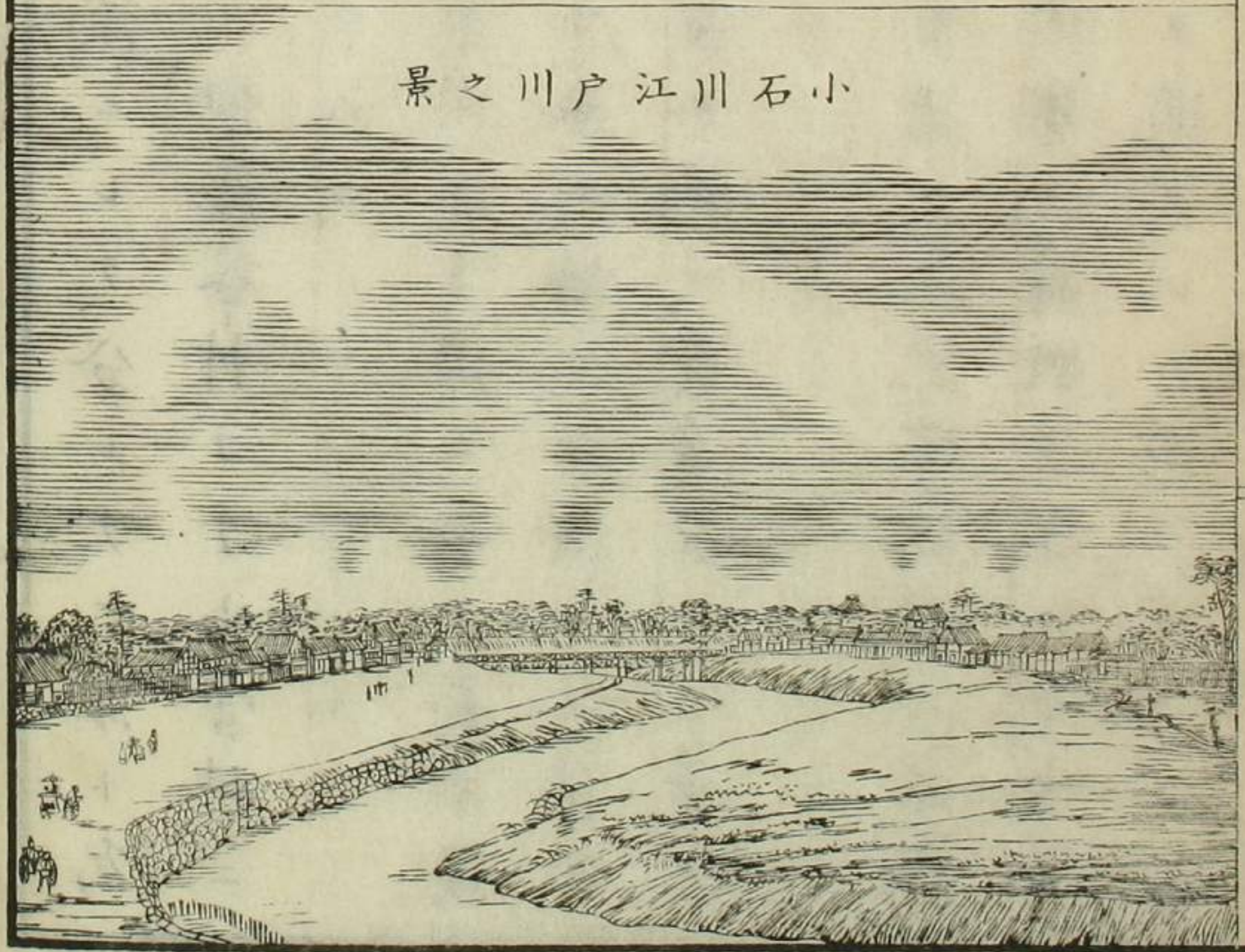
郷川ノ稱アリ、

隅田川ハ、上流ヲ荒川ト曰ヒ、其源秩父郡真澤峰ノ下ヨリ出テ、北豊島南足立二郡ノ間ヲ流レ、隅田村ニ至リ、綾瀬川ヲ合セテ南流シ、永代橋ノ南ニ至リテ、内海ニ入ル、其水深ク流レ急ナラズ、且ツ市街ノ間ニ夾マルヲ以テ、運輸漁網ノ利最モ廣シ、下流ニ浅草川宮戸川太川等ノ稱アリ、中川ハ、古利根川ノ下流ニシテ、長左衛門新田ヨリ、葛飾郡ノ中央ヲ南シ、砂村新田ニ至リテ、内海ニ入ル、

綾瀬川ハ、元荒川ノ支流ニシテ、分レテ二派ト爲リ、一ハ中川ニ入リ、一ハ伊藤谷村ヨリ小菅村ニ至リ、南流シテ隅田川ニ入ル、古隅田川ハ、昔時古利根川ノ下流ニシテ、長右衛門新田ニ於テ、中川ト分派シ、斜ニ西流シテ荒川ニ合セシガ、今ハ水脈全ク絶エ、遺溝僅ニ小菅村ノ間ニ存セリ、古川ハ、往昔綾瀬川ノ支流ニシテ、隅田村ノ西北ヨリ、堀切若宮上木下川等ノ諸村ヲ歴テ、東中川ニ達セシガ、今ハ水潦ヲ通ズルニ過ギズ、一ニ古

綾瀬川ノ稱アリ、江戸川ハ、神田上水ノ支流ニシテ、關口町ニ於テ上水ト分レ、小日向ヲ經テ牛込小石川ノ間ヲ東シ、船河原橋ノ南ニ至テ、神田川ニ入ル、神田川ハ、城北ノ外濠ニシテ、江戸川ノ末流

小石川江戸川之景



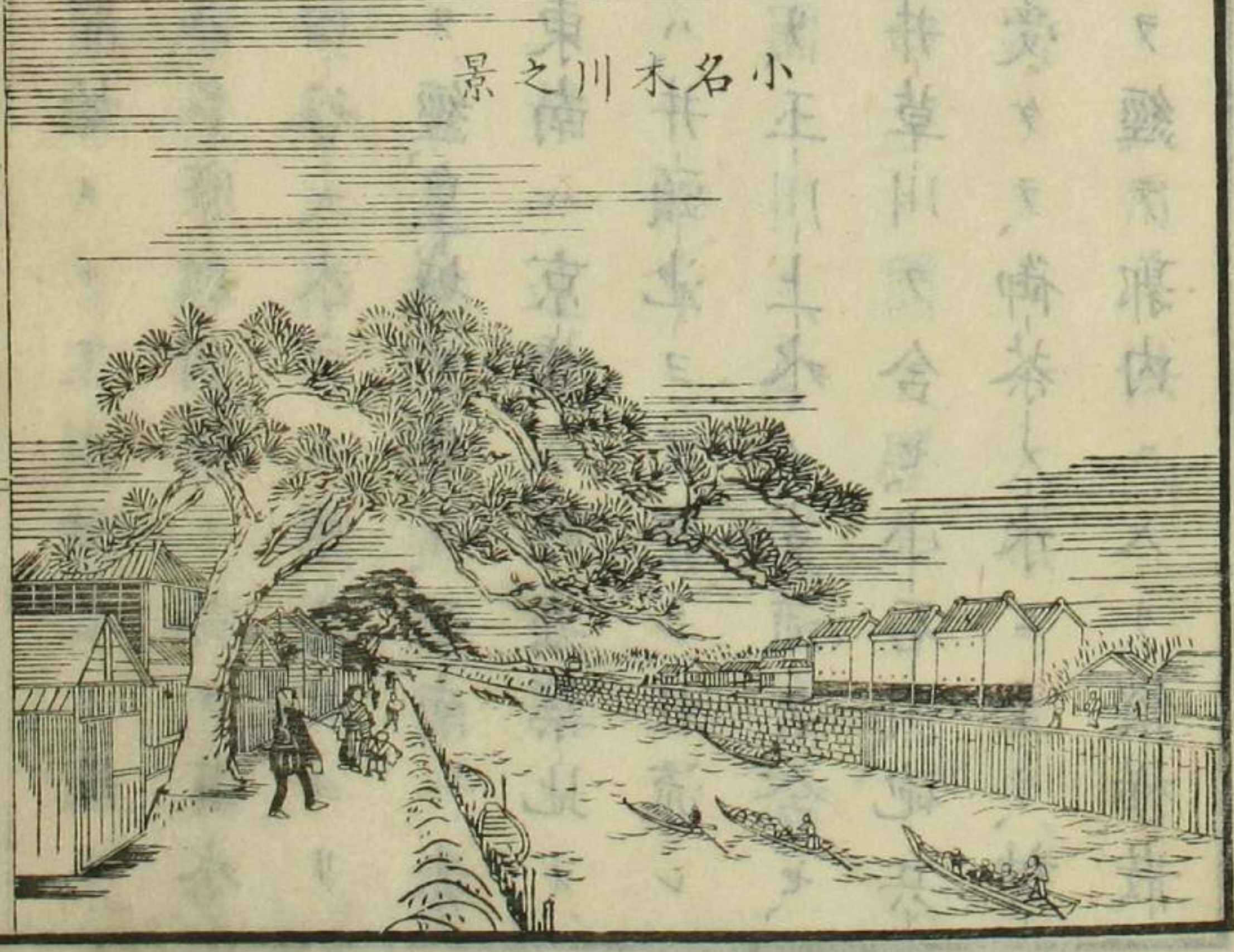
ヲ合セ、外神田ヲ經テ柳橋ノ東ニ至リ、淺草川ニ入ル、荒川ニ入ル、王子村ニ於テハ、王子川ノ稱アリ、石神井川ハ、上石神井村三寶寺池ヨリ出テ、關村溜井ノ下流ヲ合セ、瀧野川王子豊島ノ諸村ヲ歴テ、荒川ニ入ル、王子村ニ於テハ、王子川ノ稱アリ、澁谷川ハ、玉川上水ノ支流ニシテ、四谷大木戸ニ於テ上水ト分レ、澁谷豊澤ノ諸村ヲ歴テ、芝金杉ニ至リテ、内海ニ入ル、下流ニ赤羽川ノ稱アリ、呑川ハ、深澤村ヨリ發シ、北大森村ニ至リテ、内海ニ注グ、

立合川ハ、碑文谷村ヨリ大井村ニ至リテ、内海ニ注グ、

目黒川ハ、東多摩郡ヨリ出テ分レテ二條ト爲リ、一ハ世田谷村ヲ經、一ハ下北澤村ヨリ代田村ヲ過ギ、池尻村ニ至リテ、復タ合シテ一條トナリ、上自黒村ニ至リ、又蛇崩川ヲ併セ、南北品川ノ界ヨリ、内海ニ入ル、
萬治寛文ノ際、深川本所ノ地ヲ開拓シ、淺草川ノ水ヲ引キ、縱横ニ溝渠ヲ鑿チ、以テ運輸ニ便ニス、其東西ニ通ズル者ハ、小名木川船堀川以上二川ヲ通シテ

或ハ行徳川ト呼ブ、
堅川二十間川一ニ仙臺等ニシテ、堀ト呼ブ
南北ニ通ズル者ハ、大横川十間川亥ノ堀等是レナリ、就中亥ノ堀ハ、元禄乙亥ノ開鑿ニ係ルヲ以テ此名アリ、
其他支溝甚タ多シ、昔時府下ノ井水、大抵汚濁ヲ帶ビ、飲用ニ堪

小名木川之景



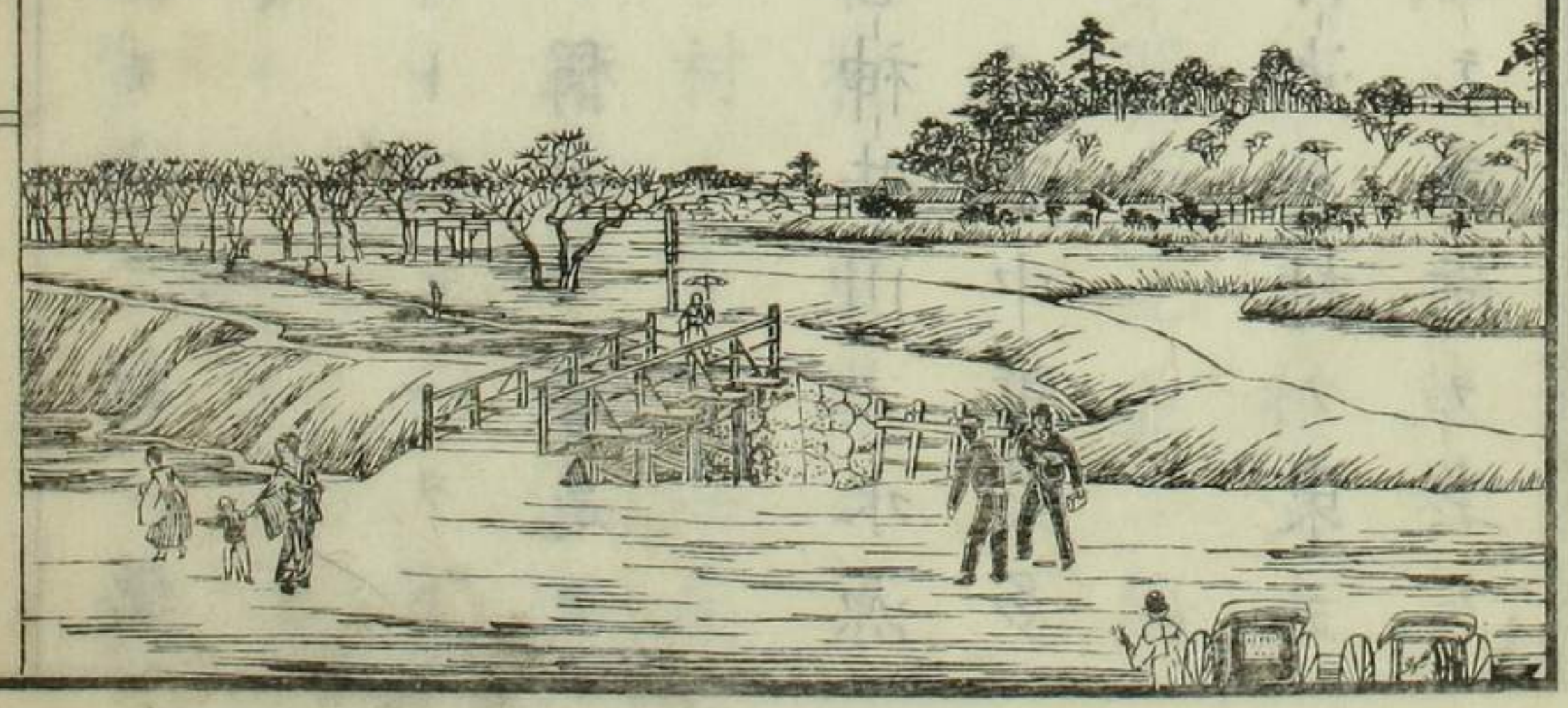
へズ、是ニ於テ承應年間始メテ玉川神田ノ兩上水ヲ設ク、玉川上水ハ、西多摩郡羽村ニ於テ、其水ヲ受ケ、小渠之ヲ導テ、四谷大木戸ニ至リ、此ヨリ伏管之ヲ受ケテ、麴町ヲ經、皇城ヲ貫キ、西南ハ赤阪ヨリ芝金杉ニ至リ、東南ハ京橋八町堀築地ノ諸街ニ至ル、神田上水ハ、井頭池ヨリ發シ、北流シテ十二所社ノ下ニ至リ、玉川上水ノ支流ヲ合セ、上落合村ニ至リテ、又井草川ヲ合セ、小石川砲兵本廠ニ至リ、伏管之ヲ受ケテ、御茶ノ水ニ至リ、神田川ニ架スル萬年竈ヲ經テ郭内ニ入り、縱横散

布シテ、京橋以北戸々ノ飲用ニ供ス、武藏野ハ、往古十郡ニ跨リタル一大原ニシテ、風入ノ賞詠スル所、其名四方ニ聞ス、歷年ノ久シキ、漸々開拓シテ田圃林園トナリ、今ハ僅々其蹟ノ存スルヲ見ル、志村原ハ、元蓮沼根葉二村ニ連互スル大原ナリ、徳丸原ハ、荒川ニ沿フテ、東志村原ニ接ス、徳川幕府ノ時練兵場タリシガ、今ハ拓シテ田圃トナル、廣尾原ハ、澁谷豐澤ノ二村ニ跨ル、古ハ多ク土筆ヲ生セシ故ニ土筆原ノ稱アリ、又其曠漠ナルヲ

以テ、一ニ廣野ト呼フ、
 駒場野ハ、上目黒村ノ北、代々木村ノ間ニ在リテ、
 今勸農局ノ牧場タリ、
 荒木田原ハ、三河島村ニ在リテ、荒川ニ沿ヒタル
 地ナリ、
 不忍池又篠輪津ニ作ルハ、上野ノ西麓ニ在リテ、公園ニ
 屬シ、谷中千駄木ノ泉流、此ニ注湊ス、池中蓮多ク、
 周圍ニ楊柳花木ヲ雜植シ、景色佳絶ナリ、
 溜池ハ、赤阪門外ヨリ虎門ニ環レル湟塹ナリ、昔
 時ハ一大池ニシテ、未々神田玉川上水ノ設ケア

ラザリシ時、此水ヲ引
 テ飲料ニ供スト云フ、
 亦蓮多シ
 丸池ハ、志村原ニアリ、
 昔時荒川ノ注キシ跡
 ナリト云フ、其形圓ナ
 ルヲ以テ此名アリ、水
 禽、鯉、鯽、魚、鰻、鱺ノ屬
 多シ、
 道生沼ハ、志村蓮沼村

溜池之景



ニ涉ル、亦荒川古流ノ跡ナリ、後沼モ亦二村ニ盤
カマル、今ハ廢シテ荒原トナレリ、

角筈村池ハ、ニアリ一ヲ上ノ溜井ト曰ヒ、一ヲ下
ノ溜井ト曰ス、世ニ十二所ノ池ト稱スル者はナ
リ、

三寶寺池ハ、上石神井村ニ在リ、石神井川ノ水源
タリ、大旱ニ遇フト雖モ、其水減ゼズ、池中蓴菜多
シ、

關村池ハ、村ノ西北ニアリ、船方村池ハ、村ノ東ニ
アリ、市ノ倉村池ハ、池水清淺ニシテ蓮荷ヲ生ズ、

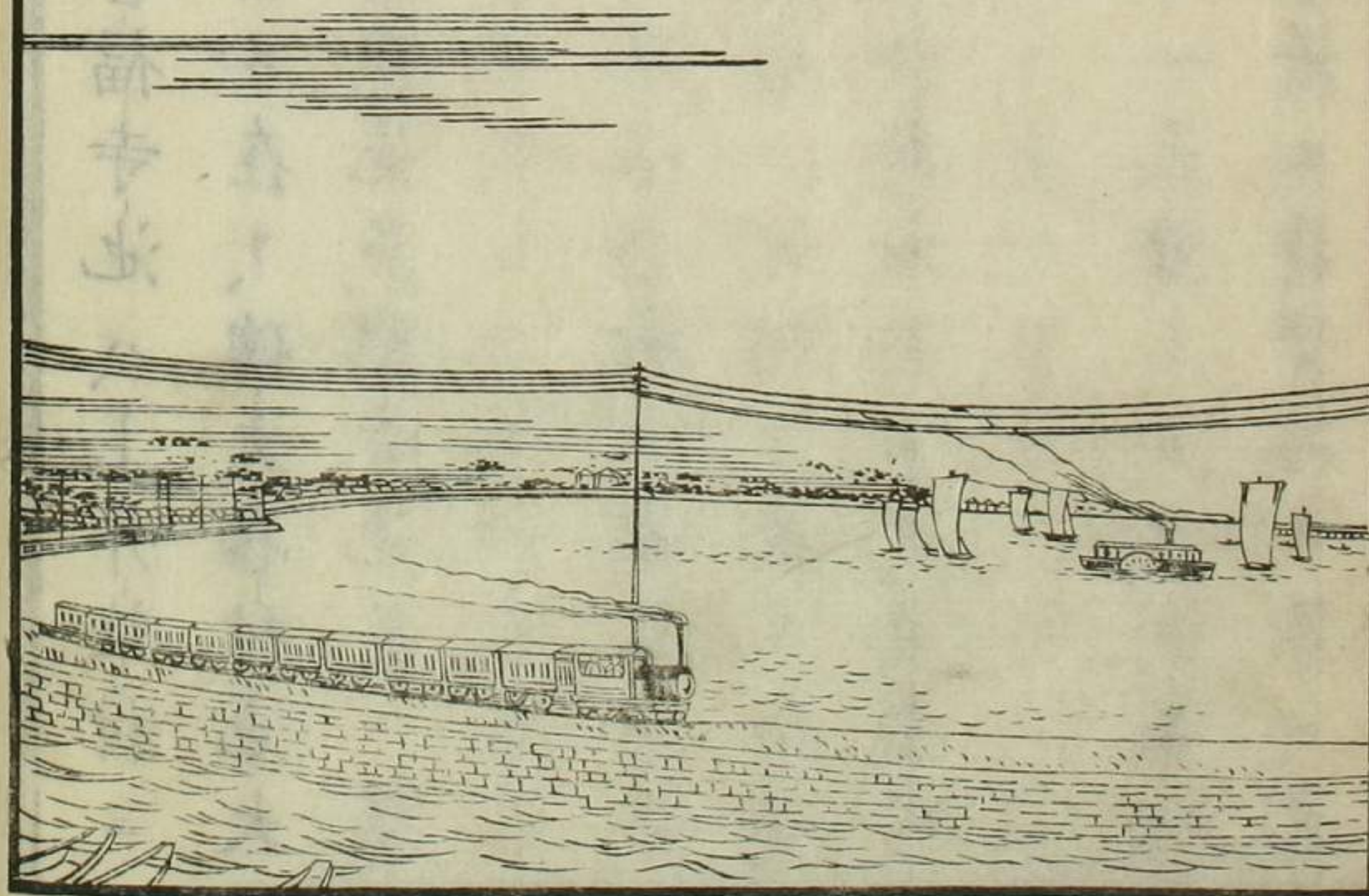
千束池ハ、池上村ニ在リ、善福寺池ハ、上井草村ニ
在リ、妙正寺池ハ、下井草村ニ在リ、碑文谷村池大
小二アリ、白鳥池四分池庚申池多聞寺池並ニ隅
田村ニ在リ、

小合溜井ハ、猿ヶ又村ノ北、下小合村ノ東界ニア
リ、東北岸ハ、戸ヶ崎寄卷高須ノ三村ニ互リ、西南
ハ、猿ヶ又上下小合及ビ小合新田ニシテ、池沼中
ノ最大ナル者ナリ、

内海ハ、即東京灣ト名クル一大灣ニシテ、武藏相
摸上總下總安房ノ間ニ渺漫ス、我管内ニ係ル者

ハ、羽田辨天社ノ岬ヨ
リ北東ニ環リテ江戸
川ニ至ル、其狀恰モ弦
月ニ似タリ、沿岸ハ淺
沙遠ク連リ、小船ニ非
サレバ近ヅクニアタ
ハズ、岸ヲ距ル約スル
ニ一里許ナレバ其深
サ三仞ト爲リ、商船軍
艦常ニ輻湊シテ帆檣

東京灣之景



林立ス、品川太森羽田ノ諸濱ハ多ク海苔ヲ産ス、
抄製シテ膳ニ供ス最モ佳品タリ、
隅田川ノ海口ニ二小島アリ、佃島石川島ト曰ス、
其間一渠ヲ隔テ相隣ル、此島ノ南東灣内ニ、嘉永
年間築ク所ノ砲臺六基アリ、連珠ノ狀ヲ爲ス、第
四基ノ西面ニ燈臺ヲ置キ、以テ船路ノ埃望ト爲
ス、其光不動赤色ニシテ四里餘ニ達ス、羽田村六
郷川口ノ南端亦一燈アリ、不動綠色ニシテ五里
餘ヲ照ス、
氣候ハ大概平和ナリ、春秋ノ候、多クハ天氣晴朗

ニシテ温暖身ニ適フ、嚴寒ノ時、華氏寒暖計二十
 八度ニ降り、極暑ハ九十三四度ニ昇ル、四方開塞
 山嶽ノ遮障スルナキヲ以テ、風颯常ニ多ク、時ニ
 沙塵ヲ捲キ晝日晦冥ナルコトアリ、冬天ハ時ニ
 雪フルト雖モ、尺ニ盈ルコト尠シ、明治九年査定
 ノ表ヲ左ニ掲ク、

陰晴風雨表				風表			
科目	陰	晴	風	雨	科目	時數	時數
全晴	一	〇	五	五	平穩	三	〇
靄霧			六	四	風	五	七
降雨			九	〇		四	二
降雪			一	〇			
雲陰	六	五	九	四			

地形ハ、大概平行ニシテ、田野大ニ闢ケ、聚落相望
 ム、五穀蕃殖、草木蔬菜長育セザルナレ、其南北豐
 島郡ハ西北ニ丘陵アリ、其餘ハ皆平坦ナリ、土性
 ハ真土壩土錯ハリテ、水田多シ、農民ハ五穀ノ外
 ニ菜蔬ヲ樹藝シ、或ハ花木ヲ養成ス、荏原郡東邊
 海岸ニ近キ地ハ、槩子平坦ニシテ、水田多シ、土性
 ハ真土居多ナリ、西北ノ方ハ岡隴起伏シ、田圃原
 野林樾多ク、土性ハ黑色壩土ニシテ、穀物ニ宜シ
 カラス、東多摩郡ハ、土性大概壩土ニシテ、陸田多
 シ、東南多摩川ニ瀕セル地ハ、真土ニシテ水田ナ

リ、南足立郡新墾ノ地ハ、土性真土ニシテ水田多ク、頗ル膏腴ノ地アリ、南葛飾郡ハ、平坦ニシテ溝渠縱横ニ通ジ、水田亦肥沃多シ、

府下道路ハ、縱横交錯四通八達、皇城ノ東南ハ悉ク坦夷ニシテ高低ナク、西北丘陵多キモ亦太ダ險ナラズ、近來益修治ヲ加ヘ殆ト清潔ヲ極ム、其大路ハ瓦斯燈ヲ設ケ、昏夜モ白日ノ如シ、橋梁ハ、日本橋府下ノ中央ニ在ルヲ以テ、全國道路里程ヲ定ムルノ元標トス、其大ナル者ハ、永代橋長サ四サ、間廣新大橋長サ百八間、兩國橋長サ九十間、廣六間、六間、廣三間、三尺、

八十六間、廣三間、三尺、吾妻橋長サ八十四間、廣三間、三尺、千住大橋長サ六十六間、廣三間、三尺、トス、其小ナル者ニ至テハ、枚舉ニ遑アラズ、新橋ヨリ横濱ノ間ニ、鐵路ヲ築キ汽車ヲ通ジ、一日往復數回、以テ行旅ニ便シ、運輸ニ利ナラシム、驛亭ハ、南

停車場之景



ニ品川宿アリ、東海道ノ首驛ナリ、北ニ下板橋驛
 アリ、中山道此ニ始マル、東北ニ千住驛アリ、陸羽
 及ビ日光ノ諸道ナリ、又千住驛ヨリ東折レテ、新
 宿驛ヲ經テ、總常陸ニ達スル者ヲ陸前濱道トス、
 西ニ内藤新宿アリ、甲州道トス、四道皆一等道路
 ニ屬ス、王子村ヲ歷テ、岩淵ニ出ツル一路ヲ岩槻
 道トナシ、上板橋上下練馬村ヨリ白子村ニ出ツ
 ル一路ヲ川越道トナシ、澁谷村道玄坂ヨリ橋樹
 郡ニ子村ニ出ヅルヲ大山道トナシ、内藤新宿ヨ
 リ關村ニ出ヅルヲ青海道ト稱ス、俱ニ二等道路

トス、
 物産、人工ニ屬スル者
 ハ、舊時紫染、漆器、筆、烟
 管、袋物、革細工、鼈甲細
 工、蒔繪細工、團扇、錦繪
 等最モ名ヲ得タリ、近
 時更ニ硝子細工、乳酪
 卷烟草、測量器械、醫術
 器械、柱時計、擦燧、洋紙
 ハ類ヲ製出シ、各其精

東京産物之圖



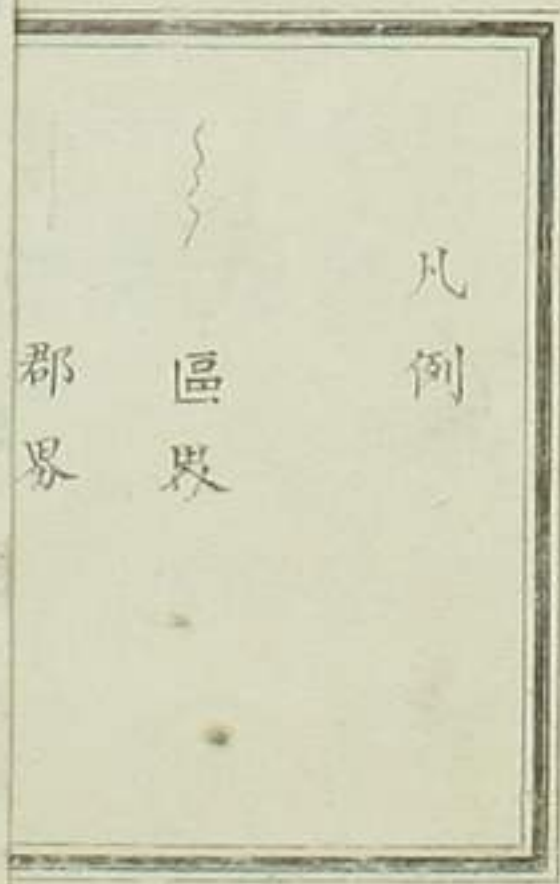
巧ヲ極メタリ、土産ニ屬スル者ハ、練馬村ノ蘿蔔、
三河島村ノ菘、板橋ノ胡蘿蔔、駒込村ノ茄子、目黒
村ノ筍、葛西ノ糯米、大森村ノ梨子、王子村ノ茶、柏木
村ノ甜瓜、隅田川ノ鱒、殘魚、鯉、蜆、玉川ノ鯽、年魚、品
川海ノ海苔、鼠頭魚、黑鯛、鱧、青魚、鱸、鰯、車鰈、芝鰈、
ニ産スルヲ以テ此名アリ、蛤、牡蠣、豐島葛飾諸處ノ鴨、鴈ノ如
キ、最モ其著レキモノナリ、

江戸ノ地名、昔時甚タ著レズ、鎌倉ノ府ヲ開ク、葛西
氏ノ族江戸太郎重長ト曰フ者、始メテ此地ニ居
リ、豐島權守清光ト曰フ者、豐島村ニ居ル、降リテ

足利義政ノ時ニ至リ、關東管領上杉定正ノ家臣
太田持資始メテ江戸城ヲ築キ、移テ之ニ居ル、時
ニ康正二年ナリ、後持資害ニ逢ヒ、定正其臣曾我
豐後守ヲシテ之ヲ守ラシム、既ニシテ上杉朝良
其子朝興相繼テ之ニ居ル、大永四年北條氏綱攻
メテ之ヲ拔キ、富永某遠山某ヲシテ之ヲ守ラシ
ム、天正十八年北條氏ノ滅フル、豐臣秀吉徳川家
康ヲ移シテ關東ヲ領セシム、是歲八月家康始メ
テ此城ニ入ル、乃チ丘陵ヲ夷ラケ、海濱ヲ填ム、市
街ヲ開キ、邸第ヲ設ク、慶長以來征夷府ヲ此地ニ

建テ、皇家ヲ翼戴シテ以テ侯伯ヲ統帥スル者二百七十餘年、物貨輻湊、人馬絡繹、其繁盛實ニ宇内有數ノ大都タリ、慶應四年德川慶喜閫職ヲ解テ、時勢丕ニ變ジ、明治維新ノ四月鎮臺府ヲ此ニ開キ、尋テ車駕東幸、西城ヲ以テ皇居ト奠メ、江戸ヲ改メテ東京ト稱ス、是ニ於テ、悉ク諸侯ノ邸第ヲ收メテ、官省兵營ヲ列置シ、鐵道ヲ設ケ、電線ヲ架シ、以テ内外交通ノ便ヲ開ク、蓋シ海内ノ地、殷富盛昌、愈久シク愈隆シナルコト、古今未タ此府ノ如キ者アラズ、

東京府管内全圖



東京府管内全圖



收メテ、官省兵營ヲ列置シ、鐵道ヲ設ケ、電線ヲ架シ、以テ内外交通ノ便ヲ開ク、蓋シ海内ノ地、殷富盛昌、愈久シク愈隆ニナルコト、古今未タ此府ノ如キ者アラズ、

凡例

森	畑	田	村	燈	鐵	道	川	山	郡	區
森	畑	田	村	燈	鐵	道	川	山	郡	區
森	畑	田	村	燈	鐵	道	川	山	郡	區

六士百五里

郡區誌

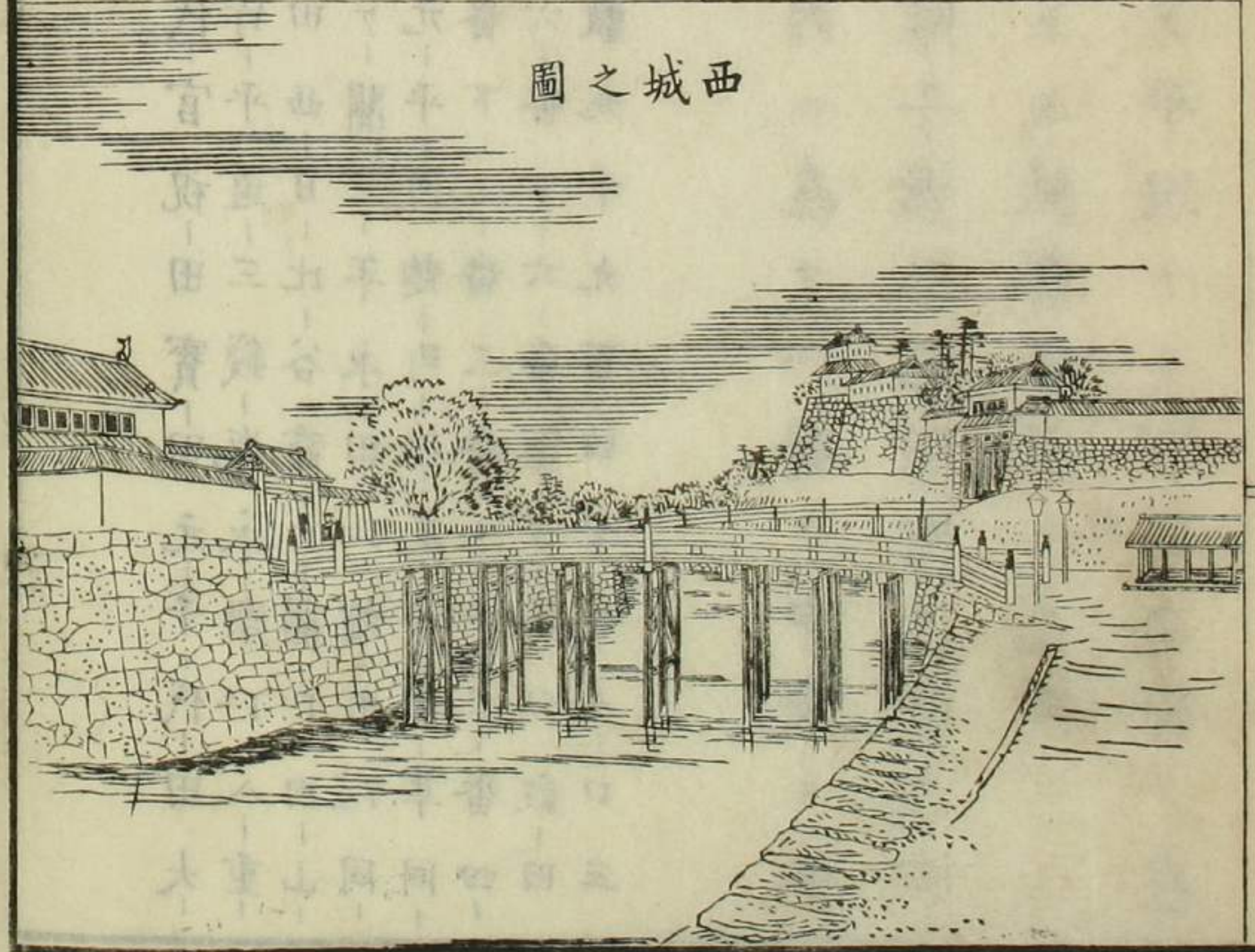
麴町區

東代官西代官祝田寶田元千代田大
 手元衛竹平道三錢瓶永樂八重
 洲有樂外櫻田西日比谷霞ヶ關内山
 下内幸裏霞ヶ關三年永田二麴町内山
 山本同平河元平河麴町紀尾井同
 元園一番上二番下二番三番土手三番四
 番五番上六番中六番下六番富士見飯田
 六ノ七十八町、戶數九千九百四十九、人口三
 萬六千三百七十九

麴町區ハ、南豐島郡ノ内ニ在テ、一府ノ中央ニ位
 シ、皇城ノ四周ヲ占ム、雉子橋外飯田町ヲ除キ、四
 方盡ク外濠ヲ以テ界トス、地勢西北ハ高岡ニシ
 テ阪坡多ク其他ハ悉ク平坦ナリ、官省兵營ノ在

ル所、宏壯華麗ノ大廈
相連レリ、皇城ハ分チ
テ二基ト爲ス、東ヲ本
城ト曰ヒ、西ヲ西城ト
曰フ、本城ノ東門ヲ大
手門ト曰ヒ、南ヲ内櫻
由門ト曰ヒ、北ヲ平河
門ト曰フ、西城ニ西丸
大手、吹上門、二重橋門
等アリ、徳川氏歴世ノ

圖之城西



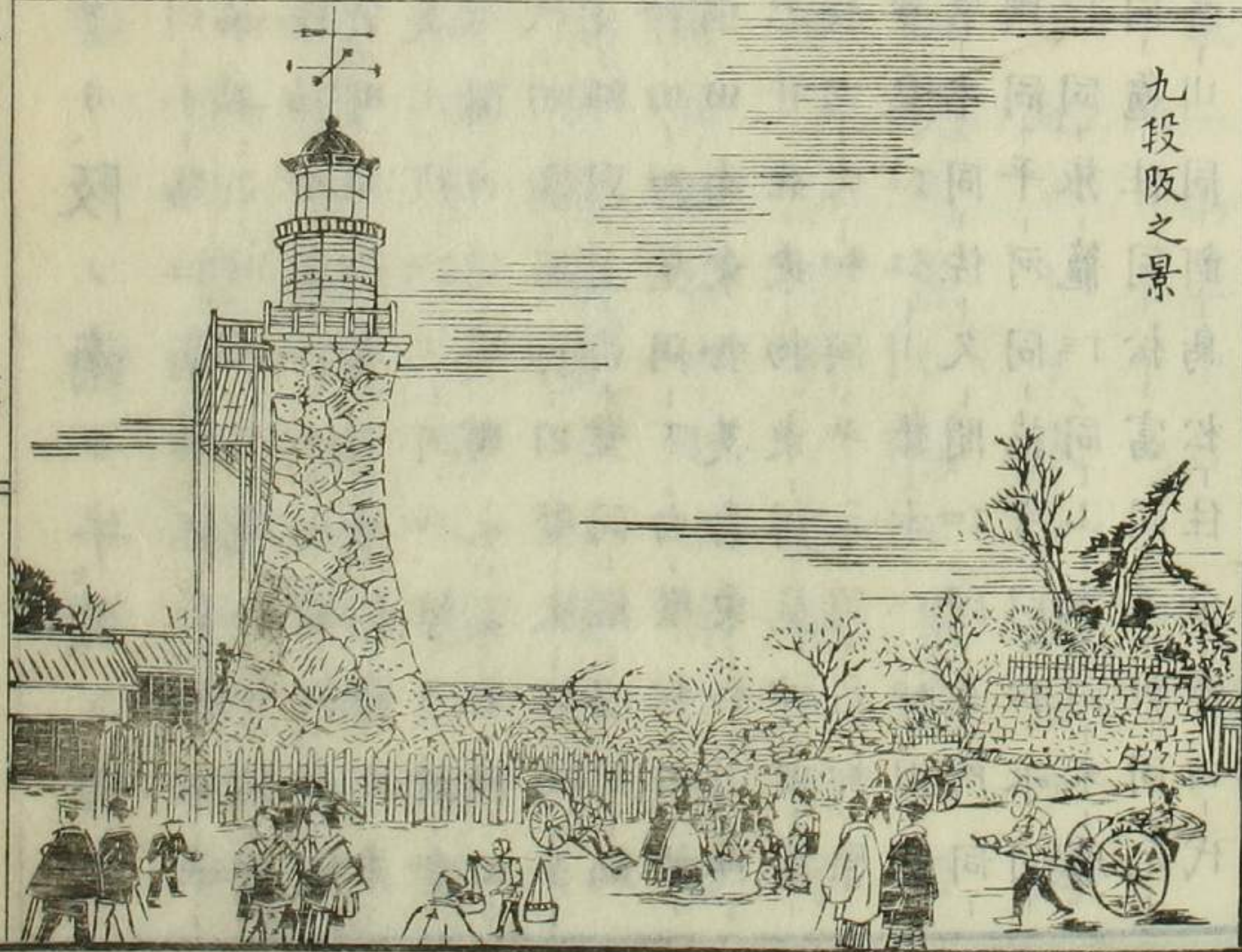
居城ニシテ、昔時ハ天主閣雲ニ聳エシモ、明曆ノ
災ニ罹リテ存セズ、其殿閣モ亦文久三年炎燼シ
テ、後復タ修築セズ、明治元年遷都ノ際、皇居ヲ西
城ニ奠メタマス、六年五月火アリ、宮殿悉ク燬ク、
乃チ赤阪離宮ヲ以テ假皇居トス、本城ノ背ニ禁
苑アリ、吹上ト稱ス、山水幽邃、飛泉アリ、亭榭アリ、
風景絶佳、遊フ者恍トシテ仙境ノ想ヒアリ、其東
ニ紅葉山アリ、舊時徳川氏寢廟ノ在リシ所、老樹
鬱茂亦城市ノ趣キニ非ス、城北ノ一郭ヲ東西代
官町トス、三面深濠ヲ繞ラシ、東ニ竹橋門、北ニ清

水田安二門、西ニ半藏門アリ、其内ハ禁苑及ビ兵營タリ、大手町ニ内務大藏二省及ビ印刷局アリ、建築ノ宏壯三年町ノ工部大學校ト相伯仲セリ、龍口ハ、湟水ヲ瀉下ス、是ヨリ以下潮汐進退シ、小舟ヲ通ズベシ、八重洲有樂二町中央ノ街路ヲ舊時大名小路ト呼ブ、嘗テ大藩ノ邸第相連リシヲ以テ此名アリ、内幸町ニ東京府アリ、櫻田霞ヶ關ハ往時著名ノ勝地ニシテ、奥羽ノ官道タリシト云フ、永田町ノ日枝神社ハ府社ニシテ、大山咋神ヲ祀ル、麴町ハ、半藏門外ヨリ西ニ通ジ、四谷門ヲ

經テ四谷傳馬町ニ接

ス、凡ソ十三町、其盛昌城東市街ニ及バズ、番町ハ舊時德川氏番士邸宅ノ地ナリ、富士見町ニ招魂社アリ、維新以來王事ニ死スル者ヲ祀ル、境内ニ假山噴水アリ、諸種ノ草木林ヲ爲ス、社前ニ競馬場

九段阪之景



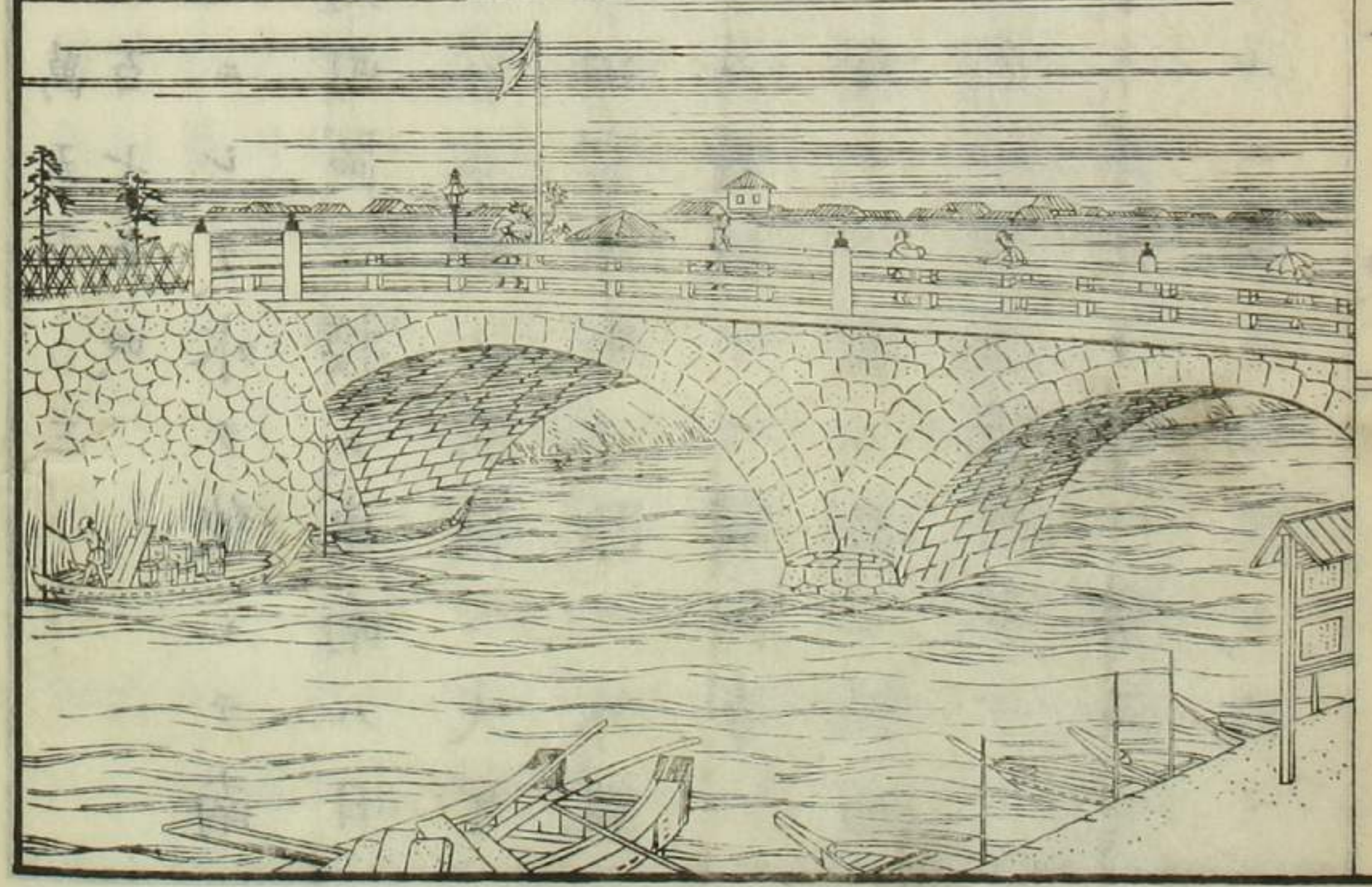
アリ、九段阪上ニ燈臺アリ、阪ノ南ヲ牛淵ト曰フ、
 神田區 一橋通今川小路ニ南神保北神保表
 猿樂ニ猿樂裏猿樂神田錦三小川駿河臺南
 甲賀同北甲賀同袋町同鈴木同西紅梅同東
 紅梅神田淡路ニ美土代同蠟燭永富旭神田
 神田松下皆川神田關口同蠟燭永富旭神田
 新銀同佐柄木千代田新石神田堅大工同多
 町ニ西今川神田塗師同上白壁同鍛冶同鍋
 通新石須田連雀神田紺屋同下白壁松田神
 田黒門同小柳西福田南乗物美倉東今川神
 田材木東福田元岩井北乗物東紺屋神田富
 山東松下神田松枝同大和同平永同元柳原
 同柳岩本東龍閣豐島三江川橋本三神田富
 松同久右衛門同宮本同佐久間同花房同松永同
 和泉同同朋同花岡同平河同花房同松永同
 相生同花田同仲三同旅籠三同山本同末廣
 同榮同元佐久間同龜住同松富同五軒同元
 久右衛門ニ同八名川同餌鳥松住金澤田代

ノ百二十七町、戸數ニ萬五千〇三
 十六、人口八萬九千九百七十四

神田區ハ、神田川沿岸ノ地ニシテ、水ヲ狹ミテ南
 北豊島郡ニ跨ル、西南ハ麴町區ニ接シ、東南ハ日
 本橋區ニ連リ、北ハ淺草下谷本郷ノ三區ニ犬牙
 出入セリ、地勢ハ駿河臺神田宮本町ヲ除ク外、概
 子平坦ニシテ、商工櫛比、市易頗盛ナリ、駿河臺ハ
 高敞ノ地ニシテ富士山ヲ望ムニ宜シ、故ニ此名
 ヲ得タリ、其阪坡ニ皂笈阪胸突阪淡路阪等アリ、
 神田川ハ、西小石川ヨリ來リ、区内ヲ經テ東流ス、
 舊時南岸ニ長堤アリ、植ウルニ柳ヲ以テス、之ヲ

柳原ト稱ス、維新ノ後、
 其堤ヲ毀テ、更ニ植
 ウルニ襍樹ヲ以テス、
 萬世橋ハ、花崗石ヲ以
 テ築造ス、橋下ノ狀チ
 眼鏡ニ似タリ、故ニ俗
 ニ眼鏡橋ノ稱アリ、橋
 南ニ八辻原アリ、一路
 八街ニ通ス、故ニ此名
 アリ、近時行路ヲ區分

萬世橋之景



シ樹木ヲ列植シ、以テ火防ノ備トス、神田多町佐
 柄木町ノ間、菜蔬ヲ鬻ク者多シ、神田市場ト稱シ、
 府下菜市ノ冠タリ、錦町ニ東京大學及ビ學習院
 アリ、校舎巨大、生徒頗ル多シ、神田龍閑二橋ノ間
 ヲ鎌倉河岸ト曰フ、神田松枝町ノ左右ヲ於玉ヶ
 池ト稱シ、其名頗ル著ハル、神田神社ハ、府社ニシ
 テ、大己貴神少彦名神ヲ祭ル、元和年中神田橋ヨ
 リ此地ニ移ス、其地本郷臺ノ東端ニ在リテ、眺望
 甚タ佳ナリ、書籍館ハ舊時ノ聖堂ニシテ、大成殿
 ト稱シ、漢土ノ大聖孔丘ヲ祭リシ所ナリ、近時之

ヲ廢シ、更ニ和漢洋ノ書籍ヲ集メ、衆庶ノ縱覽ニ
供セリ、神田旅籠町ヨリ上野ニ至ル一路ヲ、舊時
御成道ト曰フ、徳川將軍廟墓ニ詣ルノ道ナリ、

日本橋區

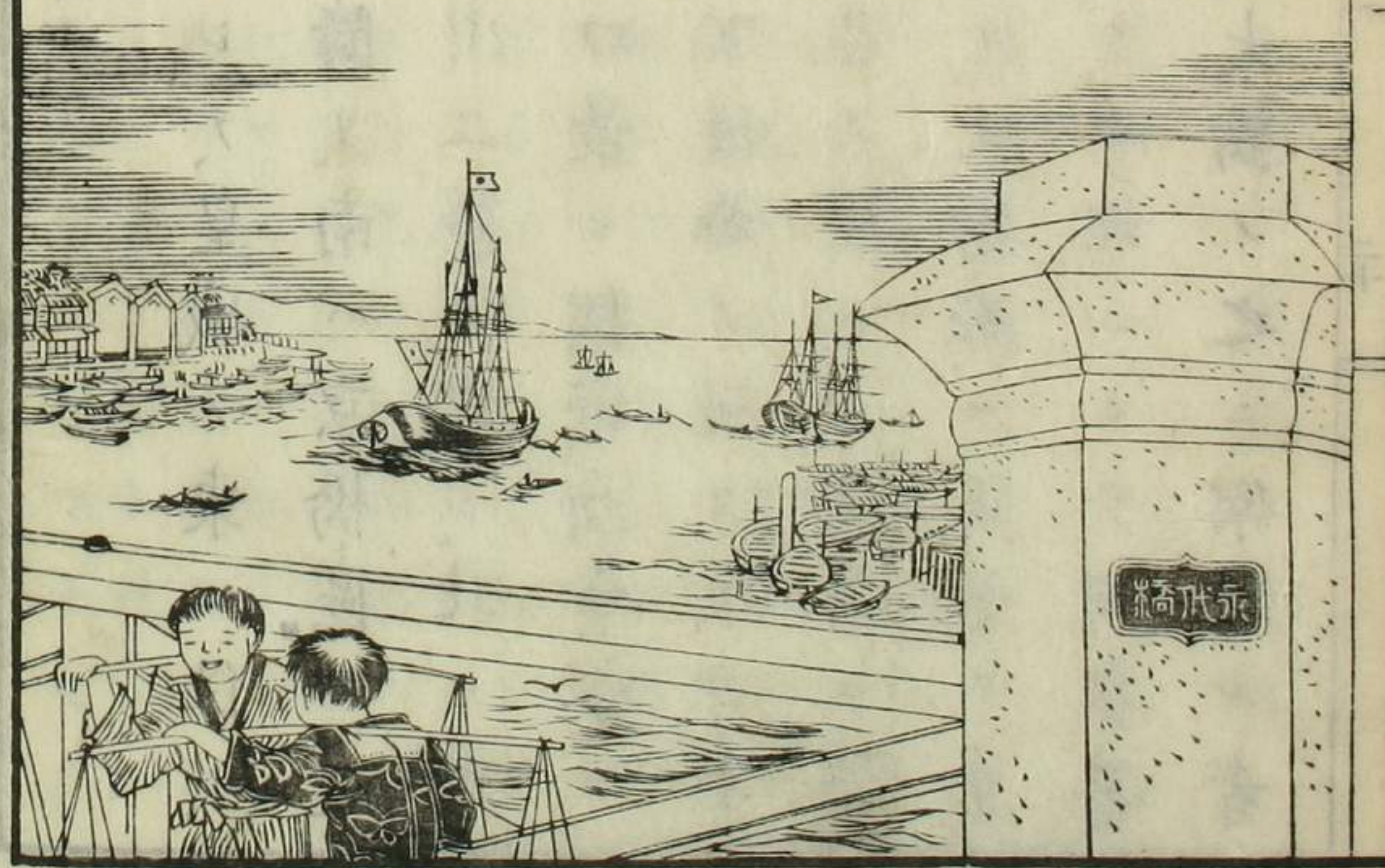
本銀_丁本_石本_室本_革本_屋本_兩本_替本_駿本_河本_瀨本_戸
物伊勢北_靴品川品川_町裏_河岸_本船_長濱_安
針本_小田_原大_傳馬_塩鐵_砲小_傳馬_三大_傳馬_三
T=通_旅籠_通油_堀留_堀江_小舟_三小_網田_四
田_所新_大阪_元濱_彌生_新材_木新_乘物_長谷_川
富_澤青_屋塚_岩代_新和_泉高_砂新_葎芳_住吉_浪
花_小網_町仲_元大_阪蠟_壳三_松島_小傳_馬上_龜
井_馬喰_通塩_横山_三吉_川元_柳新_柳橋_四藥_箱
研_堀米_澤三_村松_久松_若松_矢倉_濱三_葛蒲_箱
崎_四北_新堀_新永_代通_四西_河岸_元四_日市_錦
萬_青物_吳服_平松_佐内_元大_工新_右衛_門川_瀨
石_數寄_屋箔_屋檜_物樽_正上_模下_棋本_材木_丁
兜_南茅_場坂_本三_代北_島龜_島ノ_百四_十町_戸

數二萬千五百五十三、人口
八萬五千六百六十四、

日本橋區ハ、南豐島郡ニ屬シテ、皇城ノ東ニ位シ、
西ハ城隍ヲ隔テ麴町區ニ隣リ、南ハ京橋區ニ連
リ、東ハ大川ヲ隔テ本所深川二區ニ界シ、北ハ神
田區及ビ淺草區ニ接ス、戸口最モ稠密、商賣最モ
繁盛、豪商富家甚タ多ク、府下殷賑ノ冠タリ、日本
橋ハ、通一丁目ト室町一丁目ノ間ナル溝渠ニ架
シ、一府ノ中心ニ在ルヲ以テ、人行織ルガ如ク、車
馬常ニ絡繹タリ、地勢ハ總テ平坦ニシテ河渠甚
ダ多シ、大川其東界ヲ流レ、大橋ノ之ニ架スル者

三アリ、兩國橋ハ、新柳町ヨリ本所元町ニ達スルモノニシテ、華麗堅牢ヲ極メタリ、橋西空豁ノ地、俗呼ビテ廣小路ト曰フ、毎朝菜菓ノ市ヲ開ク頗ル盛ナリ、新大橋ハ、兩國橋ノ下流ニ在リ、長サ六大橋ノ魁タリ、永代橋ハ

永代橋之景



又其下流ニ架シテ深川ニ通ジ、華麗兩國橋ト相伯仲ス、其他一石橋江戸橋海運橋親父橋荒和布橋思案橋ノ如キ、皆世ニ著シ、第一國立銀行、樓閣ハ兜町ニ屹立シ、駿河町ノ三井銀行ト相對峙セリ、小田原安針ノ諸街ハ、比屋皆魚肆タリ、遠近ノ魚物ヲ此ニ運送シ、毎朝市ヲ開ク、雜沓最モ甚シ、元四日市本材木町ニ乾魚商多ク、本町ハ藥舗布賣多ク、通旅籠町通油町ノ間ヲ大門通リト稱シ、銅商多シ、又本船町伊勢町ニ米商多シ、故ニ其埠頭ヲ米河岸ト呼フ、蠣壳町モ亦米商多ク、俗ニ

米屋町ト曰フ、蠟売町ノ南北ニ通スル一路ヲ人形町通りト稱シ、頗ル繁華ノ衢タリ、水天宮アリ、安徳天皇ノ靈及ヒ、建禮門院二位平時子ヲ祀リシモノト云、祭日賽スル者甚タ多シ、

京橋區

北、旗南、榎桶、南、大、工、南、鍛、冶、五、郎、兵、衛、豐、北、紺、屋、中、橋、廣、小、路、南、傳、馬、三、中、橋、和、泉、大、鋸、南、鞘、松、川、鈴、木、常、盤、具、足、因、幡、柳、本、材、木、時、炭、南、紺、屋、西、紺、屋、元、數、寄、屋、四、山、下、山、城、南、佐、柄、木、加、賀、八、官、丸、屋、弓、新、肴、彌、左、衛、門、鎗、屋、南、鍋、三、龍、山、惣、十、郎、日、吉、金、六、京、橋、水、谷、銀、坐、四、尾、張、明、新、地、尾、張、二、竹、川、出、雲、南、金、六、三、十、間、堀、三、木、挽、十、采、女、南、八、丁、堀、三、大、富、新、富、七、入、舟、八、新、榮、十、新、湊、七、本、湊、船、松、明、石、築、白、中、地、南、小、田、原、四、南、飯、田、上、柳、原、南、本、郷、佃、島、松、屋、三、高、代、岡、崎、丁、元、島、水、谷、八、丁、堀、仲、永、島、又、其、長、澤、幸、日、比、谷、本、八、丁、堀、五、富、島、南、新、堀、丁、靈

空

巖島濱同塩同四日市大川端靈巖島長崎
靈巖島銀二越前堀二川口東湊二新船松ノ
百五十三丁、戸數一萬八千六百八
十一、人口七萬三千二百三十三、

京橋區モ亦南豐島郡ノ内ニシテ、皇城ノ東ニアリ、八丁堀築地靈巖島佃島ノ地ヲ占メ、北ハ日本橋區ニ接シ、西ハ城濠ヲ隔テ麴町區ニ隣リ、南ハ湟溝ヲ隔テ芝區ニ連リ、東ハ内海ニ浴フ、地勢平坦ニシテ溝渠互ニ通シ、運輸ノ利ニ富ミ、車馬往來、人物襟沓、日本橋區ニ讓ラズ、其京橋以南新橋ニ至ルノ間ハ、家屋悉ク煉化石ヲ以テ築成シ、道路樹木ヲ栽エ、府下美麗第一ノ市街タリ、京橋ハ

石ヲ以テ架シ、新橋ハ
鐵ヲ以テ架ス、其他橋
梁甚多シ、築地ハ外國
人居留ノ地ニシテ、高
邸宏壯、貿易頗ル盛ナ
リ、佃島石川島ニ警視
監獄署アリ、濱離宮ハ
園庭雅麗ニシテ、其傍
ニ延遠館アリ、大廈
空ニ聳エ、一望シテ心



銀座街之景

目ヲ快クス、靈巖島ハ昔時一ノ沙洲ナリシガ、僧
雄譽之ヲ修築シテ、一寺ヲ創立シ、靈巖寺ト曰ス、
遂ニ此名アリ、俗ニ靈巖島四日市ヲ北新川ト曰
ヒ、銀町ヲ南新川ト曰フ、共ニ酒賈多シ、靈巖島町
ノ東岸ヲ俗ニ檜葉河岸ト曰ヒ、其對岸ヲ五軒店
ト曰フ、北紺屋町ニ菜市アリ、之ヲ大根河岸ト曰
ヒ、炭町ニ竹賈多シ、之ヲ竹河岸ト曰フ、

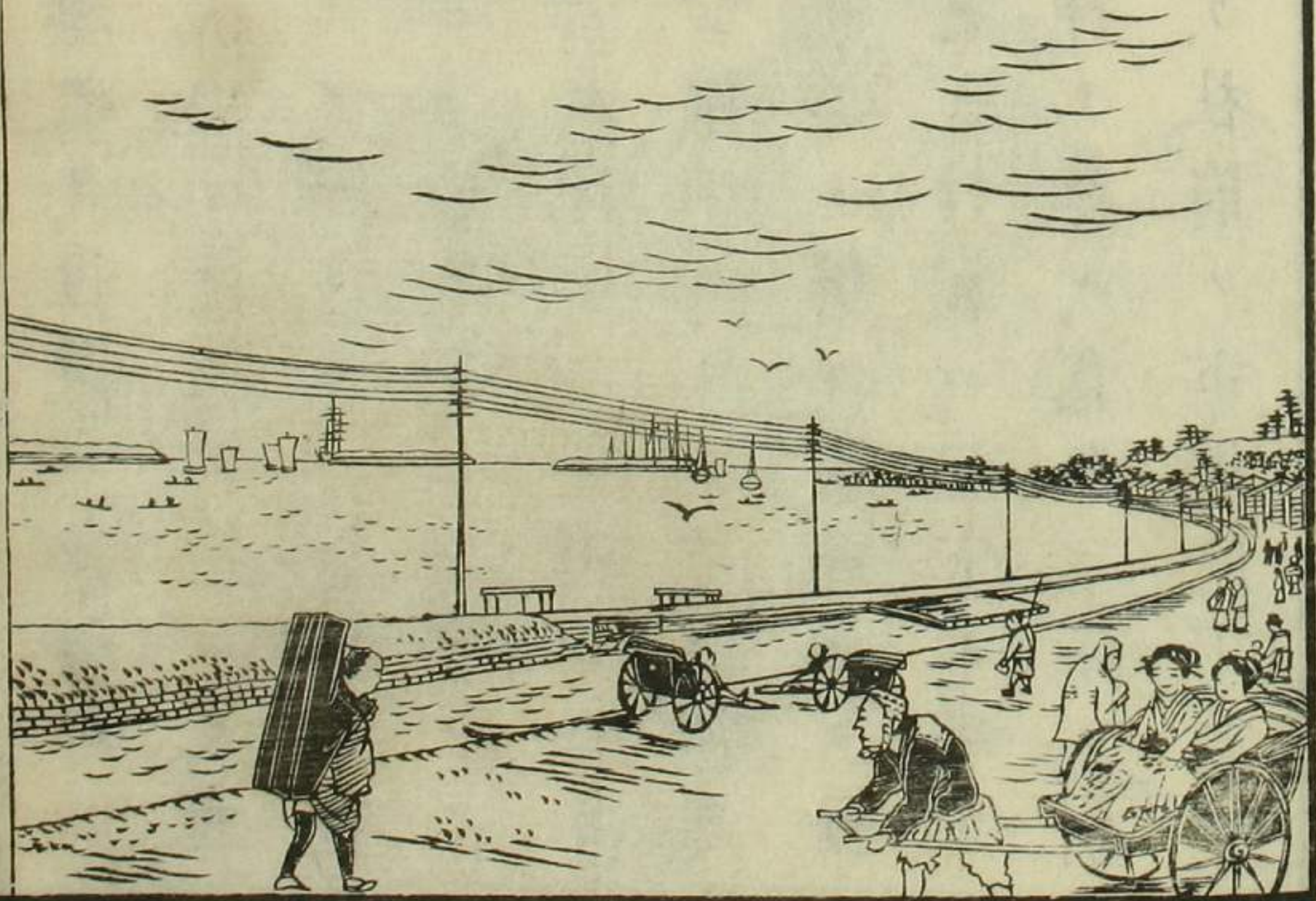
芝區
芝口 芝濱 芝源 芝助 芝露 芝月 芝柴 芝井 芝宇 芝田 芝川 芝同 芝横 芝神 芝明
芝濱 芝松 芝沙 芝留 芝芝 芝新 芝錢 芝坐 芝同 芝新 芝網 芝同 芝湊
同濱 崎今 入新 櫻田 櫻田 櫻田 本郷 新幸 二葉 琴平
南佐 久間 櫻田 太左 衛門 同久 保同 善右 衛
門同 伏見 兼房 櫻田 備前 同鍛 冶同 和泉 鳥森
日蔭 西久 保明 船同 巴 菅手 西久 保城 山神

谷西久保廣同八幡同櫻川田村愛宕下
 愛宕同榮同公園地同三島同宮本同七軒
 同中門前同三同片門前同土手跡同森元
 同新門前同金杉同同金杉川口同金杉濱同
 金杉新濱本芝同芝田町同車高輪北同南
 下高輪芝新堀同西應寺本芝材木同下同入
 横芝横新同通新同松本同赤羽三田四國三
 由同同朋同功運同臺同同臺裏芝伊皿子
 高輪臺同西臺芝二本榎寺同老增同君塚白
 豐岡同松阪同北寺同南寺同老增同君塚白
 金志田同臺同榎品川臺白金上三光同下
 三光芝二本榎本同二本榎西白金丹波同錦
 ノ百三十五町戸數二萬〇四百
 八十八、八、人口七萬六千七百〇八、

芝區ハ、皇城ノ南ニ位シ、南豐島荏原二郡ニ跨リ、
 芝西久保三田高輪等ノ地ヲ占メ、東ハ則海岸ナ
 リ、瀕海ハ地ヲ芝浦或ハ芝海ト曰フ、芝鰈ハ此海

ニ産ス、地勢東南沿海
 ノ地ハ、概子平坦ニシ
 テ、西部ハ丘陵相起伏
 セリ、赤羽川ハ澁谷川
 ノ末流ニシテ、区内ヲ
 東西ニ經過シ、芝海ニ
 注ゲリ、櫻川ハ溜池ノ
 流末ニシテ、愛宕山ノ
 下ヲ過キ、増上寺ヲ繞
 リテ赤羽川ニ入ル、海

高輪之景



岸ニ一帯ノ鐵路アリ、汽車之ヲ往復ス、汐留町ニ
 停車場アリ、新橋停車場ト曰フ、芝濱崎町ニ瓦斯
 窰アリ、府下瓦斯燈ノ源ナリ、増上寺ハ徳川氏世
 ヲ々廟墓ノ地ニシテ、其堂宇金碧晃耀スル東叡山
 ニ同シ、本堂ハ維新ノ後、大教院トナリ、明治六年
 災ニ罹レリ、域内ハ即五公園ノ一ナリ、老樹鬱茂
 幽邃愛ス可シ、其高丘ヲ丸山ト稱シ、景色甚々佳
 ナリ、山下ニ東照宮アリ、芝太神宮ハ芝宮本町ニ
 アリ、天照太御神豐受姫神ヲ祀ル、寛弘二年ノ創
 造ニ係リ、著名ノ府社ナリ、社前ノ市街、府下製造

雜器ヲ鬻クモ亦名アリ、琴平町ニ金刀比羅
 神社アリ、大物主神及
 ビ崇徳天皇ノ靈ヲ祀ル、亦
 府社ニ屬ス、賽客ノ盛
 ナル水天宮ニ抗スベ
 シ、愛宕山ニ愛宕神社
 軒遇突智神伊弉册
 尊ヲ祀ル村社ナリ、
 リ、高輪ノ邊ハ梵刹極
 メテ多シ、就中泉岳寺

増上寺之景



ハ赤穂四十七士ノ墳墓アルヲ以テ、香火常ニ絶
エス、高輪南町ニ停車場アリ、品川停車場ト曰フ、
芝田町三田ノ岐路ヲ札ノ辻ト曰フ、

麻布區 飯倉^{丁六} 同 狸穴 同 片麻布 我善坊 同 市
兵衛^{丁一} 同 仲町 同 谷同 簞笥 同 今井 同
三河臺 同 永坂 同 新網^{丁二} 同 東鳥居 坂 同 鳥居
阪 同 六本木 同 宮下 同 北日窪 同 南日窪 同 材
木 同 龍土 同 新龍土 同 網代 同 阪下 同 一本 松
同 宮村 同 櫻田 同 三軒家 同 筭 同 新筭 同 霞 同
山本 同 本村 町 同 廣尾 同 富士見 同 盛岡 同 西
同 東 同 竹谷 同 新堀 同 田島 同 本村 澁谷 上 廣
尾 同 下 廣尾 同 廣尾 同 五十一 町 戸數
七千八百八十三 人口 二萬五千〇十

麻布區ハ、皇城ノ南ニアリテ、南豊島郡ノ内ナリ、
東ハ芝區ニ接シ、西北ハ赤坂區ニ連リ、南ハ澁谷

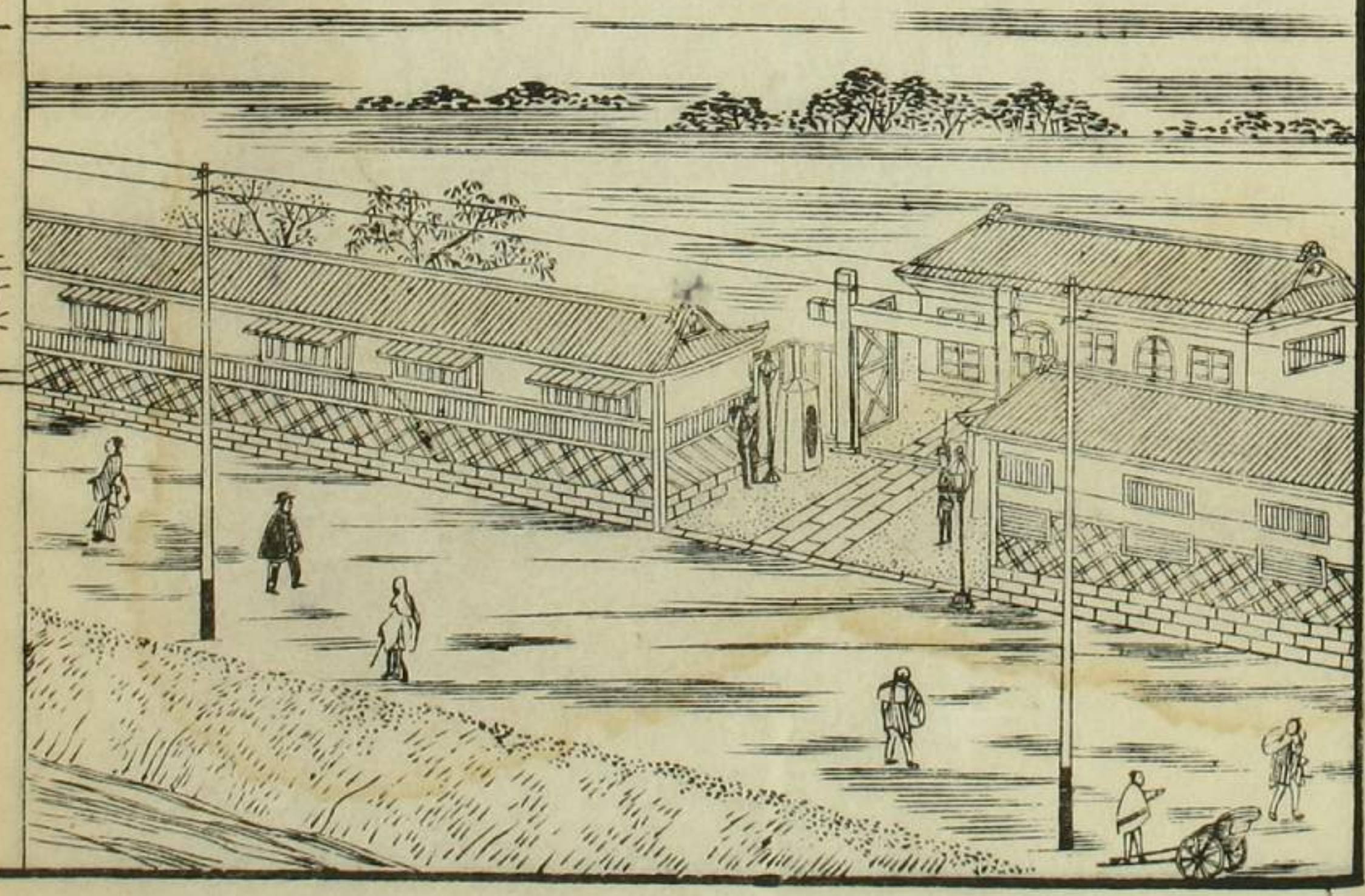
川ヲ隔テ、荏原郡白金村ニ對セリ、麻布ノ名ハ甚
タ古シ、舊時ハ阿佐布ト曰フ、地勢丘陵起伏シ、阪
坡甚タ多シ、芋洗阪南部阪鳥居阪永阪我善坊谷
等アリ、人家稀疎、市街モ亦甚タ熱鬧ナラズ、澁谷
川ハ西南境界ヲ流レテ芝區ニ入ル、狸穴ハ往古
銅壙アリ、故ニ壙穴ト云ヒシガ、後世訛傳シテ狸
穴トス、飯倉森元ニ町ニ跨リテ、海軍省ノ觀象臺
アリ、此地巨刹大寺ニ乏シカラズ、近時漸ク傾廢
ニ屬セリ、

赤阪區 元 赤阪 赤阪 田町^七 同 表^四 同 裏^三 同
新五 同 中町 同 一本 同 丹後 同 臺 同 氷

川同新坂同檜同福吉溜池榎坂同葵同靈南
 坂青山南北同北同三筋同六軒同權田
 原同高樹澁谷宮益同神原ノ五十二町戸數
 六千三百八十二、人口一萬九千八百二十、
 赤阪區ハ、南豐島郡ノ内ニシテ、皇城ノ西南ニ位
 セリ、東北ハ溜池ヨリ喰違ニ至リ、外濠ヲ隔テ麴
 町區ニ對シ、西北ハ四谷區ニ接シ、東南ハ麻布區
 ニ接シ、西南ハ南豐島郡澁谷村ナリ、地勢總テ高
 岡ノ上ニ在リ、人烟稀疎、商賣モ亦盛ナラズ、溜池
 ハ區ノ東北隅ニアリ、古ヘハ有名ノ大池ナリシ
 カ、近時荒廢シテ僅ニ其蹟ヲ存ス、區ノ中央南北
 ニ通スル一路ヲ大山道トス、元赤阪町ニ赤阪離

宮青山御所アリ、離宮
 ハ皇城罹災ノ後假皇
 居トナル、近時又太政
 官ヲ移サル、溜池葵町
 ニ工部省アリ、檜町ニ
 鎮臺兵營アリ、青山南
 町ニ開拓使植物園アリ、
 紀伊國坂藥研阪靈
 南阪權田原富士阪三
 分阪等ノ陵坂多シ、

赤阪假皇居之景



合...
 南...
 東...
 西...
 殿...
 二...
 守...
 皇...

東京府地誌略卷之上終

